エスペックの企業価値創造プロセス

私たちは、「社会の公器」として私たちが解決すべき社会課題を認識し、企業理念の実践とビジョンの実現に向けた事業活動を推進しています。これらを通じて「経済的価値」と「社会的価値」の創出と向上を図ることで、持続的成長を目指しています。

社会課題

- 地球環境問題
- 技術革新
- 少子高齢化
- 人権・労働
- ダイバーシティ&インクルージョン
- 顧客の安全・安心
- サプライヤー対応

投下資本（2025年度）

■財務資本	株主資本（連結）	53,711百万円
	現金及び現金同等物期末残高（連結）	14,695百万円
■製造資本	生産拠点数（連結）	7拠点
	設備投資額（連結）	2,004百万円
■知的資本	研究開発費（連結）	1,521百万円
	特許保有件数（単体）	404件
■人的資本	従業員数（連結）	1,898名
	教育投資額（単体）	125百万円
■社会関係資本	海外販売ネットワーク（国・地域）	50カ所44社
	国内代理店数	46社
■自然資本	使用電力量（連結）	32,231千kWh
	うち再生可能エネルギー※	21,551千kWh
	取水量（連結）	109千m³

※自社太陽光発電・再エネ電力メニュー・非化石証書等を含む

リスク

- 大規模な自然災害
- 地政学リスク
- 環境関連規制の強化
- 人材不足
- グループガバナンス・コンプライアンス

機会

- 先端技術分野における製品サービスの需要拡大
  （ターゲット市場：AI半導体・自動運転・衛星通信分野）
- 安全・安心な社会の実現に向けた技術革新
- 環境関連規制への早期対応
- 多様な人材によるイノベーションの創出

エスペックの企業価値創造

エスペックの価値観

「THE ESPEC MIND」
“プログレッシブ”

長期ビジョン「ESPEC VISION 2035」

グローバルに最も頼られる存在へ

- 環境試験の世界的トップランナー
- プログレッシブでイノベーティブなグループ

マテリアリティ（重要課題）

- グローバルな事業を通じた社会課題解決
- 責任ある製品サービスの提供
- 環境への配慮
- 人材の確保・育成
- 人権の尊重
- グループガバナンスの強化

P23・24参照

中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」

2027年度 中期目標

売上高	760 億円
営業利益	91 億円
営業利益率	12.0 %
当期純利益	67 億円
ROE	12.0 %以上

1．事業戦略
- 装置事業戦略
- グローバル戦略
- モノづくり戦略
- サービス事業戦略
- 新規事業戦略

2．財務資本戦略
- 財務資本戦略
- IR戦略

3．非財務戦略（ESG）
- 人的資本
- 環境
- グループガバナンス

P03〜10参照

事業活動

装置事業
- 環境試験器
- エナジーデバイス装置
- 半導体関連装置

サービス事業
- アフターサービス、エンジニアリング
- 受託試験、レンタル

その他事業
- 環境保全
- 植物育成装置

使命・存在意義

環境創造技術でより確かな生環境を提供
ステークホルダーとの価値交換性の向上

提供価値

- 先端技術の安全・安心に貢献
- ステークホルダーの信頼に応える
- 従業員の多彩な「成長支援」と「活躍機会の提供」
- 地球環境への貢献

2025年度 主な実績

■売上高（連結）	70,034百万円
セグメント別売上高（連結）	
●装置事業	59,468百万円
●サービス事業	8,327百万円
●その他事業	2,747百万円
■営業利益（連結）	7,084百万円
営業利益率（連結）	10.1％
■親会社株主に帰属する当期純利益（連結）	5,879百万円
■純資産（連結）	61,401百万円
自己資本比率（連結）	74.0％
■ROE（連結）	10.0％
■1株当たり配当金	年間115円
配当性向（連結）	42.5％
■温室効果ガス排出量（連結）	1,282,803t-CO_2e
●直接排出（SCOPE 1+SCOPE 2※）	9,259t-CO_2e
●間接排出（SCOPE 3）	1,273,544t-CO_2e

※マーケットベースを採用

2026年4月1日現在

■女性管理職比率（単体）	8.1％